



令和2年度に友部第二小学校で開催された、エコを学ぶ人形劇

環境負荷ゼロへの挑戦

～ゼロカーボンシティ宣言～

私たちから排出されている温室効果ガスが増加することで、今後、猛暑や豪雨被害などの頻発化と激甚化が予想されています。地球温暖化を防ぐためには、国、地方自治体、事業者、国民、皆が参加・連携して対策に取り組むことが必要です。

市では、地球温暖化対策とごみ減量化に対する取り組みを強化するため、「第2次笠間市環境基本計画」を見直し、昨年7月に宣言した「プラスチックごみゼロ宣言」とあわせた、“環境負荷ゼロへの挑戦”として、脱炭素社会を目指す「ゼロカーボンシティ」を4月1日に宣言しました。

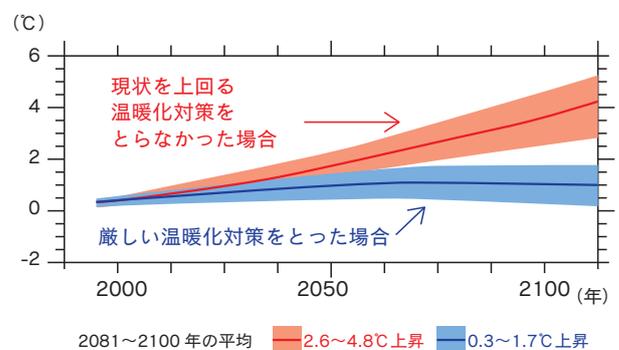
❖ ゼロカーボンシティとは

環境省では、CO₂の排出を2050年までに実質ゼロ※とすることを旨を表明した自治体を、「ゼロカーボンシティ」としています。

国では、石炭火力発電の廃止に向けた検討や、2030年代半ばまでに乗用車新車販売で電動車100%を実現、地方自治体への温暖化対策に向けた工程表の作成など、私たちを取り巻く環境への対応意識が大きく変化しているなかで、地方自治体に対しても積極的な取り組みが求められています。

現在（令和3年5月20日時点）、全国の388自治体が表明し、脱炭素社会に向けた取り組みが各地で行われています。

※排出量実質ゼロ：CO₂などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成すること。



CO₂削減と廃棄物プラスチックの削減に向けた市の取り組み

市民の皆さんに向けて

- 環境教育の充実（環境寺子屋のWeb配信・エコクッキングの実施など）
- 環境サポーター制度の導入



事業者と共に

- 資源物回収品目の拡大や回収店舗の拡充による分別回収の充実化
- 事業者と行政の意見交換会などによる事業連携の強化



滞在者（観光者）に向けて

- シェアサイクルなど環境に配慮したモビリティ（交通手段）の活用を推進



行政として

- 市役所内でワンウェイプラスチック削減対策を率先して実施
- 公用車の低燃費車両への移行
- 森林の適正管理の促進によるCO₂吸収源の確保



一人ひとりの取り組みが地球温暖化対策につながります

市では、ゼロカーボンシティ宣言により、温室効果ガス（CO₂）の排出量を実質ゼロにするための取り組みを率先して実行していきます。しかし、地球温暖化は市内事業者や市民の皆さんの協力がなければ対応できない問題です。

笠間市のかけがえのない財産を守り、未来の子どもたちに豊かな自然を残すために、「省エネ・節電対策」や「分ければ資源・混ぜればゴミ」を全員で意識できるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

エコバックで買い物

プラスチックごみの削減となります。袋代も節約でき、一石二鳥です。



公共交通・自転車で外出

CO₂の排出量を減らして、地球温暖化防止に貢献。公共交通機関や自転車の移動で健康づくりにも効果的です。



電気を節約

エアコンの設定温度に気をつける、照明をこまめに消す等、エネルギー資源を大切に。



ごみを分別・リサイクル

「もの」には役割を終え、使えなくなり「ごみ」になる時がきます。正しく分別することで大切な資源に生まれ変わります。



問 環境保全課（内線125）